

1 教材・教具名
ピンボールゲーム

2 教科・領域
体育科

3 指導目標、指導内容、指導方法

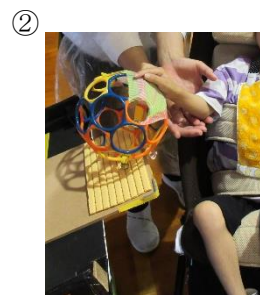
(指導目標)

- ・網目状のボールに指を引っ掛けて持ち、ボールを教師に引っ張ってもらいながらピンボールゲームの台まで進むことができる。
- ・坂道のフックにゴムで引っ掛けられた網目状のボールを、手前に引っ張ってから放す動きで坂道を転がすことができる(写真①)。
- ・坂の上に置いたボールを手で転がして箱に落とすことができる(写真②)。



(指導内容)

- ・ボールに両手の指を引っ掛け、対面した教師にボールを引っ張ってもらいながらピンボール台まで進む。
- ・ボールに付いているゴムをピンボール台のフックに掛けてもらい、ボールを手前に引っ張ってから引っ掛けていた指を放して転がす(写真①)。
- ・指に引っ掛けたボールを引っ張って放すことが難しい児童は、ピンボール台のボール置き場にボールを設置してもらい、ボールの面に触れて転がす(写真②⑤)。



(指導方法)

- ・ボールをつかみやすいよう、網目状のボールを使用する。
- ・ボールがゴールに入ったときに音を鳴らしたり、得点を色板にして知らせたりして、聴覚的、視覚的に分かりやすいよう工夫する。

4 工夫点、おすすめポイント

- ・ピンボール台全体を黒にし、転がるボールに注目できるようにした(写真③)。
- ・カラフルなボールに鈴を付けたり、電球を巻き付けたりして、弱視の児童にも転がるボールを音や光で感じ取れるようにした(写真④)。
- ・網目状のボールに指を掛けて引っ張って放すことが難しい児童は、ボールの一部に面を作り、面に触れることで簡単に転がすことができるようにした(写真⑤)。
- ・転がるボールを追視できるようにピンボール台の傾斜を緩やかにした。
- ・転がったボールが箱に入ったことが分かるように、箱の中にVOCA(ビッグマック)を入れ、音で知らせるようにした。



5 作成について

①材料や大きさ

- ・スチロールパネル(160 cm×35 cm) ・段ボール箱 ・黒ガムテープ ・粘着フック
- ・メッシュボール ・プラスチックコップ ・板(A4版) ・ワイヤー電飾
- ・滑り止めシート ・ビッグマック

②使用道具

- ・はさみ

③作り方

- ・スチロールパネルの両サイドに縁を付ける。
- ・ボールが通り抜ける幅に合わせてプラスチックコップを付ける。
- ・ボールを引っ掛けるフックやボールを置く板を取り付ける。

⑤

